長門の話題 Topics

市長と児童のにこにこ給食会

おいしいよ！長門のごはん

11月24日(水)、深川小学校1年3組の教室で「市長と児童のにこにこ給食会」が開かれました。これは9月に学校給食センターが稼働し、子どもたちがどのように給食を食べているか、市長自ら確認するために行われたものです。

南野市長は、児童と机を並べて一緒に給食を食べました。この日のメニューはごはんと八宝みそ汁、サンマのみぞれ煮、野菜のごま和え。南野市長は「このお米は長門で作られたものです。しっかり食べてくださいね」と話しかけると、児童も「ごはんおいしい！」と応えるなど、すぐに打ち解けて楽しい時を過ごしていました。

結成10周年長門農山漁村女性のつどい

今こそ活かそう女性の力！

11月16日(火)、長門農山漁村女性団体連携会議が発足して10周年を記念し、長門農山漁村女性のつどいと消費者交流会が長門市中央公民館で開かれました。会場には地元の材料を活用した人形づくり体験コーナーや、地産地消をテーマにしたミニ農山漁村レストランなどが開かれました。

また、公民館の大講堂では、福岡県男女共同参画センター前館長、中嶋玲子さんを講師に招いて「農村に今こそ活かそう女性の力！」と題した記念講演が開かれました。講演で中嶋さんは、過疎化が進む農村でどのようにしたら地域の人たちが協力し合えるのか、などについて話しました。

民生委員・児童委員委嘱状伝達式

安心の地域づくりに貢献

12月10日(金)、長門市中央公民館で民生委員・児童委員への委嘱状、感謝状伝達式が行われました。12月1日からの新任・再任委員130人に委嘱状が、11月30日で3年間の任期を終える委員41人には感謝状がそれぞれ手渡されました。

南野市長は「委員の皆さんには、重大な役割を引き受けていただき感謝しています。市としても、高齢者や児童など誰もが地域で安心して暮らせるよう努力していきます」とあいさつしました。その後の理事会で、長門市民生児童委員協議会会長に吉村彦士(げんじ)さん(俵山)が選任されました。

平成22年度よいこと表彰

小さな親切、広がる笑顔

12月4日(土)、平成22年度「よいこと表彰」の表彰式が市教育委員会で行われました。この表彰は、「長門市青少年育成市民会議」が毎年行っているもので、今年で6回目。左記のとおり市民12人と1団体が表彰されました。(敬称略)

新谷美知子(通)、岡村光夫(通)、大上登(西深川)、中野貴司(俵山)、平瀬瑞来(明倫小5年)、南彩音(明倫小4年)、南琴乃(明倫小2年)、田岡優雅(深川中3年)、青木龍汰(仙崎中2年)、石村洸平(仙崎中2年)、藤田裕大(仙崎中2年)、綿野翔太(仙崎中2年)、俵山湯の家(団体)

浅田小学校児童がにんじんの収穫を体験

わぁ！すごく大きいね

11月29日(月)、浅田小学校の4年生17人が農事組合法人ファーム上ゲのにんじん畑で収穫を体験しました。これは、同法人が長門市給食センターから委託を受けてにんじんを栽培しており、自分たちの給食に使われる食材がどのように作られているかを学ぶために行われたものです。

体験前に同法人の代表の藤田孝雄さんが「このにんじんがみんなが食べる給食の材料になるんだよ」と話しました。収穫が始まると、児童たちは「すごく大きい！」と驚きながら次々とにんじんを引き抜きました。その後、畑のとなりにある小屋で選別作業や洗浄作業などを体験しました。

最新の救助工作車が配備

より早い救出活動に期待

12月14日(火)、長門市消防本部に新しい救助工作車が配備されました。これは、これまで使われていた救助工作車が平成2年12月の導入から約20年が経過して老朽化が進んでいたため、それに代わって導入されたもので、災害や事故などの様々な事態に即応できる機能を持っています。

約3トンのものを持ち上げられるクレーン装置や、大型の発電照明装置、毒ガスやウイルスのある環境でも作業ができる防具服など、最新鋭の装置を完備しており、これからより早い救助活動への活躍が期待できます。

オレンジリボンチャリティコンサート

子どもへの虐待をなくそう

11月21日(日)、第1回オレンジリボンチャリティーコンサートが長門市中央公民館で行われました。これは、児童虐待防止について関心と理解を深めてもらおうと、児童養護施設俵山湯の家が主催して行ったものです。

コンサートには、みすゞ音頭を育てる会「青波・小青波」や長門市民合唱団「オーシャンコールながと」など11の団体が参加しました。最後に、来場者が虐待防止へのメッセージを書いたオレンジ色のハート型カードを大きな用紙に貼りつけて、オレンジリボンを完成させました。

第1回ながとご当地グルメ祭り

B級グルメでまちおこし

11月26日(金)、第1回ながとご当地グルメ祭りが、JR長門市駅北口の飲食店街一帯で開かれました。これは、最近流行りのB級グルメで地域を活性化しようと同祭り実行委員会が開催したものです。会場では200人分無料のしし鍋がふるまわれました。

長門市ウオーキング教室

正しいフォームで気持ちよく

11月28日(日)、青海島共和国とその周辺を会場に長門市ウオーキング教室が開催され、市民や体育指導員など約100人が参加しました。正しいウオーキングフォームを身につけるため体育指導員による丁寧な指導が行われたあと、青海湖を目指して歩きました。

ちょっと小耳に

全国大会で最優秀賞受賞！

県立水産高校水産科学部

12月3日(金)、東京海洋大学で開催された「第19回全国水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会」に県立水産高校の生徒3名が出場し、見事最優秀賞に選ばれました。

出場したのは、水産科学部に所属している3年生の森本由香里さん、伊藤祐希さん、光木慎太郎さん。7月に鳥取県で行われた地区大会で1位になり、全国大会への出場権を獲得しました。

写真左から光木さん、森本さん、伊藤さん

▲発表リハーサルのようす

大会では、藻場が減少して起こる「磯焼け」が深刻な海を再生するための研究について発表。海中の鉄イオン不足を解消するため、使用済みカイロから作った鉄炭団子を海に投入し、その効果を説明しました。審査では、研究を地域と連携して行ったことや、環境問題への取り組みが高く評価されました。

大会後、市役所で開かれた報告会で森本さんは「私たちの研究を、地域の多くの人が支えてくださったことをしっかり伝えることができ、悔いの残らない発表になりました」と語りました。

チビッ子大うんどうかい

こっちよ、こっちっちゃ！

11月25日(木)、ルネッサながとアリーナで「あつまれチビッ子！大うんどうかい」が開催され、市内の親子など約300人が参加しました。この催しは、子育て輪づくり活動の一環として乳幼児をもつ母親同士の交流を目的に、長門市母子保健推進協議会が開催したもので今回が3回目。

はいはいゲームでは、鈴やタンバリンを鳴らしながら「こっちにおいで！」と応援するお母さんを目指して、子どもたちは一生懸命手足を動かしてはいはいしました。参加した親子は、楽しいひとときを過ごしました。

第21回子ども相撲長門大会

はっけよい！のこった！

11月23日(火)、第21回子ども相撲長門大会が飯山八幡宮で開催され、市内外から100人以上の小学生が参加しました。試合はクラブチームによる個人戦、団体戦が行われたほか「初心者の部」も開催され、相撲部に所属していない小学生の男子・女子も学年別個人戦に出場しました。

小学1年生の部では初めて相撲をする子どもばかり。行司が「はっけよい！」と合図をしても動かなかったり、土俵の中を走って逃げたりしていましたが、勝っても負けても笑顔で、初めての相撲を楽しんだようすでした。